

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第6部門第3区分
 【発行日】平成19年1月11日(2007.1.11)

【公表番号】特表2002-529821(P2002-529821A)

【公表日】平成14年9月10日(2002.9.10)

【出願番号】特願2000-580135(P2000-580135)

【国際特許分類】

G 06 Q	10/00	(2006.01)
G 06 N	5/04	(2006.01)

【F I】

G 06 F	17/60	1 6 2 A
G 06 N	5/04	5 5 0 Q

【手続補正書】

【提出日】平成18年10月31日(2006.10.31)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0029

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0029】

上述から分かるように、コーディネータ305はシステム219の中央制御装置ではない。コーディネータ305はエージェント201、203、205、207、209、211がコーディネータ305から送られたタスクの実行309を行うことを要求できるが、エージェントはこれらのタスクを実行できない。エージェントはゼウスオープンメッセージングアーキテクチャ(Zeus Open Messaging Architecture)を使用して互いに通信し、エージェント201、203、205、207、209、211はほぼユーザの操作のもとで動作するが、上述のように、ユーザへの情報通知は図2に示したように四角形部分241によってコーディネータ305へルート設定される。図2において、橢円形部分243はコーディネータ305からエージェントへの要求を表わし、タスクの実行309を行う情報に対応する。ダイヤモンド形部分245は、ユーザプロフィールデータを含むデータベース247から抽出されたユーザの選択または関心の記録を表わす。したがってダイヤモンド形部分245にリンクされたエージェント201、203はウェブおよびイントラーネットアシスタントであってもよい。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0094

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0094】

ダイヤリアシスタント211がユニックスプラットフォーム上で実行されるとき、次のUNIX(登録商標)命令をキーボードで入力して、アシスタント211を呼出すことができる。

【手続補正3】

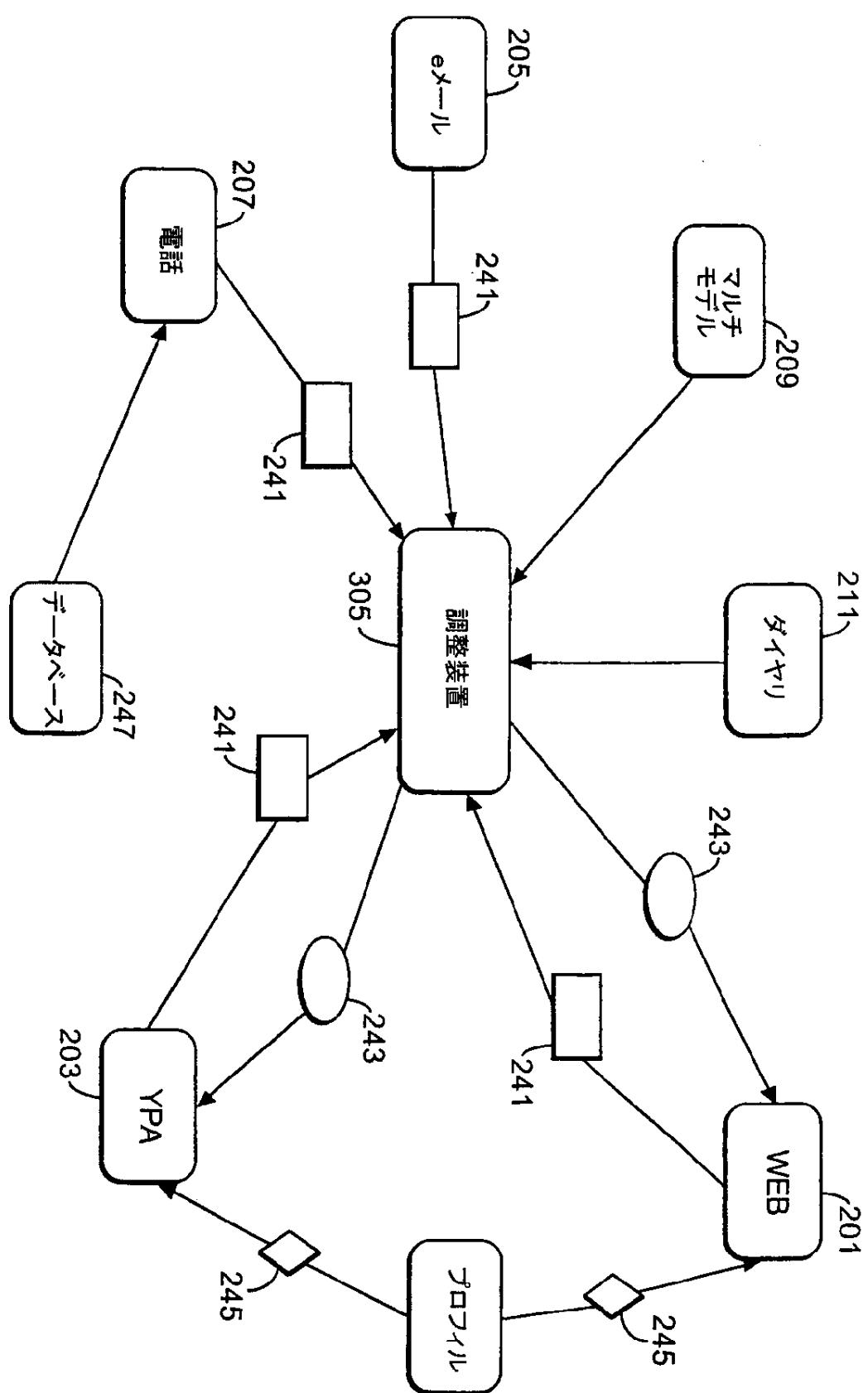
【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図2】



【手続補正4】

【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図4】

